

航空機搭乗に際して

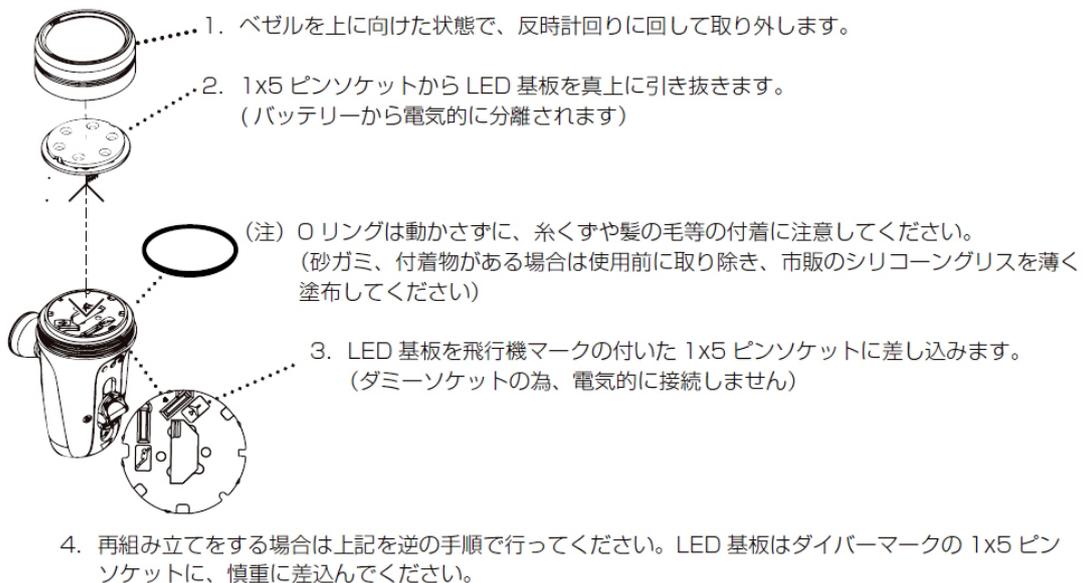
株式会社タバタ TUSA 営業部

SOLA ライトシリーズは水没事故を出来る限り防止するために充電式電池内蔵型を採用し、基本的にリチウムイオン電池を取り外すことができません。そのため、航空機に搭乗される際は、以下の手順に従ってください。(※国土交通省の航空局安全部運行安全課の指導[2013/7/26]に基づくものです。)

●航空機に搭乗される際には、事前に以下の方法で LED 基板とバッテリーを分離しておいてください。水没の原因となりますので、必ずホコリやチリの少ない綺麗な室内で行ってください。

これによって、バッテリーが分離されて尚且つ短絡防止もされた状態となり、航空機内への持込みが可能となります。(※国土交通省航空局安全部運行安全課 2013/7/26 確認済み)

SOLA ライト分解の手順



(次頁へ続く)

ご注意

- ① SOLA ライトは荷物と一緒に預けられません。必ず航空機内に持ち込んでください。
※預けてトラブルになった場合、対応ができずに没収される可能性があります。
- ② 保安検査員に対して、ハウジング内部でバッテリーと本体が分離されていて、尚且つ短絡(ショート)防止状態になっていることをご説明ください。
※必要であれば、スイッチを入れても点灯しないことをお見せください。
- ③ 保安検査員からワット時定格量を質問された場合は、22.5W/hr (Video4000 は 48.8W/hr) と各航空会社が定める 160W/hr より小さいことをご説明ください。

※尚、念のために本説明書をプリントアウトして保安検査場にお持ちください。また、海外では PSDS (=MSDS) シートが有効となる場合がありますので、併せてお持ちください。どちらも TUSA ホームページ上の SOLA ライトのページからダウンロードできます。